

2023年10月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年12月14日

上場会社名 株式会社pluszero 上場取引所 東
 コード番号 5132 URL https://plus-zero.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 小代 義行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 浅川 耀佑 (TEL) 03-6407-0212 (代表)
 定時株主総会開催予定日 2024年1月26日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年1月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期の業績 (2022年11月1日~2023年10月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期	894	23.1	162	27.5	162	40.0	120	0.1
2022年10月期	726	-	127	-	116	-	120	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年10月期	48.32	44.34	13.7	11.5	18.2
2022年10月期	57.19	51.48	25.5	18.3	17.6

(参考) 持分法投資損益 2023年10月期 -百万円 2022年10月期 -百万円

(注) 当社は、2022年4月19日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期	1,165	949	81.4	378.88
2022年10月期	1,019	820	80.5	330.72

(参考) 自己資本 2023年10月期 949百万円 2022年10月期 820百万円

(注) 当社は、2022年4月19日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年10月期	91	△142	8	762
2022年10月期	114	△11	564	805

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年10期	-	0.00	-	0.00	-	-	-	-
2023年10期	-	0.00	-	0.00	-	-	-	-
2024年10月期(予想)	-	0.00	-	0.00	-	-	-	-

3. 2024年10月期の業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

業績予想に関する序文

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	539	31.0	85	10.4	85	10.4	55	7.5	22.12
通期	1,180	32.0	208	28.0	208	28.0	140	16.4	55.60

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年10月期	2,505,610 株	2022年10月期	2,500,000 株
2023年10月期	88 株	2022年10月期	19,800 株
2023年10月期	2,498,877 株	2022年10月期	2,109,310 株

(注) 当社は、2022年4月19日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意 事項等については、【添付資料】P. 4 ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手について) 当社は、2023年12月14日(木)に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会の資料は、2023年12月14日(木)にウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社はAIを中心としてIoT・ロボティクス・自然言語処理・ハードウェア等の各種テクノロジーを統合的に活用したソリューションを提供する「ソリューション提供事業」を展開しております。

また、当社はArtificial Elastic Intelligence(AEI)というコンセプトの下、継続的に特定の分野にフォーカスして、技術検討、開発が行われております。AEIというのは、機械が人間のように意味を理解できるようになることを目指す技術であり、その意味理解の深さによって、最終的には、特定のジャンルに限定することによって、人間のようにタスクを実行することが可能なAIの実現を目指しています。

当社は収益の「継続性」と「高成長性」を実現することを重要視しながら、「ソリューション提供事業」を展開しております。それぞれ、サービスの性質に基づいて、「プロジェクト型」と「サービス型」に分類しております。

「プロジェクト型」においては、顧客の経営問題の解決や課題の達成のための相談と具体的なサービス・システムの設計・開発・保守運用までをワンストップで提供いたしております。また、「サービス型」においては、①特定の業界や特定の業務の品質向上や効率向上などに寄与するサービスをクラウド形式で提供する「サービス提供型」、②「仮想人材派遣」関連技術に関する技術情報の提供や開発ライセンス・利用ライセンスの供与や関連事業・サービスの立上支援を実施する「ライセンス供与型」の2種類のサービスを提供しております。

当事業年度(2022年11月1日から2023年10月31日まで)においては、当社におきましては、契約件数等は堅調に推移し、売上は順調に推移いたしました。以上の結果、当事業年度の売上高は894,074千円(前年同期比+23.1%)、営業利益は162,848千円(前年同期比+27.5%)、経常利益は162,853千円(前年同期比+40.0%)、四半期純利益は120,756千円(前年同期比+0.1%)となりました。なお、当社の事業セグメントはソリューション提供事業の単一セグメントのため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

i. 流動資産

当事業年度末における流動資産は951,261千円となり、前事業年度末に比べ3,409千円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の取得や法人税等の納付により現金及び預金が43,135千円減少したこと、売上規模拡大により、売掛金が48,744千円増加したことによるものであります。

ii. 固定資産

当事業年度末における固定資産は214,598千円となり、前事業年度末に比べ142,969千円増加いたしました。これは主に、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定72,197千円の増加やオフィス増床等による有形固定資産の増加5,139千円があった一方で、営業権が定額償却により2,234千円減少したことによるものであります。ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定に関しては、前事業年度より当社の研究開発活動である仮想人材派遣の一部について将来の収益獲得が確実に became ことに伴い、その中核技術であるN4及びPSPFの一部につき、資産計上を行っております。

上記の結果、総資産は1,165,859千円となり、前事業年度末に比べ146,379千円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は216,568千円となり、前事業年度末に比べ17,357千円増加いたしました。

これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が11,679千円、未払消費税等が12,846千円が減少した一方で、事業拡大に伴い社員数等が増加した結果、未払費用が39,201千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は216,568千円となり、前事業年度末に比べ17,357千円増加いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は949,291千円となり、前事業年度末に比べ129,021千円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使に伴う新株発行により資本金及び資本準備金がそれぞれ3,229千円増加及び、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分に伴い資本剰余金が1,802千円増加したこと、当期純利益により、利益剰余金が120,756千円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度から43,135千円減少し、762,481千円となりました。当会計年度末における各キャッシュ・フローの状況と、その主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は91,216千円(前年同期は114,644千円の獲得)となりました。主な減少要因は、ソリューション提供事業の売上規模拡大に伴う売上債権及び契約資産の増加額48,744千円(前年同期は売上債権及び契約資産の増加額40,174千円)、未払消費税等の減少額が12,846千円(前年同期は未払消費税等の増加額15,537千円)等があったことによるものであります。

一方、主な増加要因は、売上規模拡大による税引前当期純利益期の獲得162,853千円(前年同期は税引前当期純利益136,481千円)、人員拡大に伴う人件費増加による未払費用の増加額39,201千円(前年同期は人員拡大に伴う、未払費用の増加額17,849千円)等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、142,617千円(前年同期は11,921千円の支出)となりました。これは、当事業年度においてソフトウェアの取得による資金の支出が84,375千円(前年同期は26,606千円)、投資有価証券の取得による支出が51,800千円(前年同期はなし)あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、8,265千円(前年同期は564,236千円の獲得)となりました。これは、前事業年度において新規上場に伴う自己株式の処分による収入が569,250千円あったことにより減少しております。また、当事業年度における収入は主に、新株予約権の行使による収入が6,458千円、新株予約権の行使に伴う自己株式の処分が2,046千円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2023年10月期につきましては、ソリューション提供事業の需要を着実に取り込むべく積極的な事業展開を続けるとともに、組織強化と要員増強、人材育成に力を注いでまいります。人材の採用育成及びAEIや新規事業を始めとするソフトウェアの開発を推し進めることにより、継続的な成長を成し遂げてまいります。

以上を踏まえ、当社の2024年10月期通期の業績予想につきましては、売上高1,180百万円(前年度比32.0%増加)、営業利益208百万円(前年度比28.0%増加)、経常利益208百万円(前年度比28.0%増加)、当期純利益140百万円(前年度比16.4%増加)を見込んでおります

(注)業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって記載内容と大きく異なる可能性があることを予めご承知ください。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社では、財務情報の期間比較や他社との比較可能性を考慮し、日本基準を適用しております。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢等を考慮のうえ、その必要性が高まった際には適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当事業年度 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	805,616	762,481
売掛金及び契約資産	127,585	176,330
前払費用	13,771	11,528
その他	877	920
流動資産合計	947,851	951,261
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,258	6,873
工具、器具及び備品（純額）	677	1,202
有形固定資産合計	2,936	8,075
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	4,824	33,618
ソフトウェア	20,322	63,726
営業権	2,234	-
無形固定資産合計	27,381	97,344
投資その他の資産		
投資有価証券	-	51,800
長期前払費用	2,036	-
繰延税金資産	29,098	47,401
その他	10,176	9,976
投資その他の資産合計	41,311	109,178
固定資産合計	71,629	214,598
資産合計	1,019,480	1,165,859

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年10月31日)	当事業年度 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
未払金	22,096	22,665
未払費用	84,896	124,097
未払法人税等	48,053	36,374
契約負債	495	-
預り金	9,064	11,613
未払消費税等	34,605	21,759
その他	-	59
流動負債合計	199,211	216,568
負債合計	199,211	216,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	13,229
資本剰余金		
資本準備金	99,100	102,329
その他資本剰余金	578,762	670,565
資本剰余金合計	677,862	772,894
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	42,415	163,171
利益剰余金合計	42,415	163,171
自己株式	△8	△4
株主資本合計	820,269	949,291
純資産合計	820,269	949,291
負債純資産合計	1,019,480	1,165,859

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
売上高	726,075	894,074
売上原価	284,230	358,512
売上総利益	441,845	535,562
販売費及び一般管理費	314,169	372,714
営業利益又は営業損失(△)	127,675	162,848
営業外収益		
受取利息	24	5
営業外収益合計	24	5
営業外費用		
支払利息	25	-
上場関連費用	11,321	-
営業外費用合計	11,347	-
経常利益又は経常損失(△)	116,353	162,853
特別利益		
投資有価証券売却益	20,128	-
特別利益合計	20,128	-
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	136,481	162,853
法人税、住民税及び事業税	48,053	60,400
法人税等還付税額	△1,727	-
法人税等調整額	△30,481	△18,303
法人税等合計	15,845	42,097
当期純利益又は当期純損失(△)	120,635	120,756

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2021年11月1日 至2022年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	100,000	99,100	9,998	109,098	△80,835	△80,835
当期変動額						
当期純利益					120,635	120,635
減資					-	
自己株式の取得			△317	△317		
自己株式の処分			569,081	569,081		
新株の発行(新株予 約権の行使)						
当期変動額合計	-	-	568,763	568,763	120,635	120,635
当期末残高	100,000	99,100	578,762	677,862	42,415	42,415

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△495	127,768	127,768
当期変動額			
当期純利益		120,635	120,635
減資			
自己株式の取得	317	-	-
自己株式の処分	168	569,250	569,250
新株の発行(新株予 約権の行使)			
当期変動額合計	486	689,885	689,885
当期末残高	△8	820,269	820,269

当事業年度(自2022年11月1日 至2023年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金			利益剰余金	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	100,000	99,100	578,762	677,862	42,415	42,415
当期変動額						
当期純利益					120,756	120,756
減資	△90,000		90,000	90,000		
自己株式の取得						
自己株式の処分			1,802	1,802		
新株の発行(新株予約権の行使)	3,229	3,229		3,229		
当期変動額合計	△86,770	3,229	91,802	95,031	120,756	120,756
当期末残高	13,229	102,329	670,565	772,894	163,171	163,171

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	△8	820,269	820,269
当期変動額			
当期純利益		120,756	120,756
減資		-	-
自己株式の取得	△239	△239	△239
自己株式の処分	243	2,046	2,046
新株の発行(新株予約権の行使)		6,458	6,458
当期変動額合計	4	129,021	129,021
当期末残高	△4	949,291	949,291

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	136,481	162,853
減価償却費	2,205	1,502
ソフトウェア償却費	203	12,177
営業権償却	6,826	2,234
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,128	-
長期前払費用の増減(△は減少)	2,425	2,036
支払利息	25	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△40,174	△48,744
前払費用の増減額(△は増加)	△6,276	2,242
未払金の増減額(△は減少)	4,579	568
契約負債の増減額(△は減少)	△1,980	△495
未払費用の増減額(△は減少)	17,849	39,201
預り金の増減額(△は減少)	△3,962	2,549
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,537	△12,846
その他	△140	16
小計	113,472	163,297
利息の支払額	△25	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	1,197	△72,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	114,644	91,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	-	△6,442
無形固定資産の取得による支出	△26,606	△84,375
有価証券の取得による支出	-	△51,800
投資有価証券の売却による収入	22,848	-
敷金及び保証金の差入による支出	△8,162	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,921	△142,617
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△5,014	-
自己株式の取得による支出	-	△239
自己株式の処分による収入	569,250	2,046
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	6,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	564,236	8,265
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	666,958	△43,135
現金及び現金同等物の期首残高	138,657	805,616
現金及び現金同等物の期末残高	805,616	762,481

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、ソリューション提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり純資産額	330.72円	378.88円
1株当たり当期純利益	57.19円	48.32円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	51.48円	44.34円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、前事業年度末において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できず、また、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。
2. 当社は、2022年4月19日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額、1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益を算定しております。
3. 当社は、2022年10月28日に東京証券取引所マザーズ（提出日現在 グロース市場）に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新規上場日から当事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	当事業年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失		
当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	120,635	120,756
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失(△)(千円)	120,635	120,756
普通株式の期中平均株式数(株)	2,109,310	2,498,877
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	234,233	224,422
(うち、新株予約権(株))	(234,233)	(224,422)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

5. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年11月 1 日 至 2022年10月31日)	当事業年度 (自 2022年11月 1 日 至 2023年10月31日)
純資産の部の合計額(千円)	820,269	949,291
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	820,269	949,291
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	2,480,200	2,505,610

(重要な後発事象)

該当事項はありません。